



2026年6月29日

各 位

会 社 名 株式会社C A P I T A
代 表 者 代表取締役CEO 宮田 浩二
(東京証券取引所スタンダード市場
コード: 7 4 6 2)
問 合 せ 先 常務執行役員管理部長 新島 裕一
電 話 0 3 - 6 2 7 7 - 5 0 1 5

100億宣言採択のお知らせ

当社は、売上高100億円を目指す企業として、中小企業庁監督の下、独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下「中小機構」という。）が運営するポータルサイトへの当社100億円宣言の掲載を申請し、採択されたことをお知らせいたします。

記

1. 背景

「100億宣言」とは、中小機構の企画の下、中小企業が飛躍的成長を遂げるために、自ら、「売上高100億円」という経営者にとって野心的な目標を目指し、実現に向けた取組を行っていくことを、宣言するものです。宣言した企業は、中小機構の事務局が運営するポータルサイト「100億企業成長ポータル」に、当該宣言を掲載することが可能です。

当社は、2026年5月14日に中期経営計画を公表しました。その中で、長年培った石油・不動産事業による収益を基盤としつつ、次なる成長ステージへ向けて大胆な変革を実行し、「売上高・時価総額100億円」の達成、そして将来的な「プライム市場」への挑戦を宣言いたしました。

当社は、上記中期経営計画をグループ会社全体で共有し、日本が直面する「高齢化」と「インフレ」という二つの大きな潮流を捉えて、「不動産 × 物販 × 投資事業」を軸とした事業ポートフォリオへの転換を進めます。

この新たな事業ポートフォリオをもとに持続的な成長基盤を確立することで、2028年に売上高100億円の達成を目指します。

そしてより具体的な施策を実行、促進するために、中小機構が運営する「100億企業成長ポータル」へ、当社の「100億円宣言」の掲載を申請し、採択されました。

2. 内容

不動産事業では、日本の高齢化を成長機会と捉え、シニア向け施設を中心とした開発・保有を推進、安定的なストック収益を確保します。

物販事業では、施設を起点に物販・ヘルスケア関連事業との連携を図ります。

投資事業では、M&Aを成長の主要ドライバーと位置づけ、関連分野への出資・資本業務提携を積極的に推進します。

これらの取組を加速するため、当社はバイオ・ヘルスケア分野に特化したファンド事業を担う子会社「バイオ・サイト・キャピタル株式会社」を通じた投資を推進しております。その第一弾として、AIを活用した認知症診断アプリ「MIRUDAKE」を展開するアイ・ブレインサイエンス社へ出資（約5千万円）を実行いたしました。あわせて、M&A戦略室およびIR戦略室

の新設、純粋持株会社体制への移行によるグループ経営・PMI体制の構築を進め、投資・M&Aの意思決定と資金調達力の強化を図ってまいります。

詳細については添付資料をご確認ください。

3. 100億宣言のメリット等

宣言を行った企業は、宣言取得による補助金・税制の活用に加え、宣言を行った成長を目指す経営者が地域・業種を超えて繋がれる経営者ネットワークへの参加、「100億企業成長ポータル」への掲載などが可能になります。また、「宣言」マーク活用による自社PRなどが可能となります。

以 上